

12/1-7#36 真実な方:1.1ヨハネ5:20において、私たちに
は1ヨハネの極めて重要な結論があります。神の御子
が来られて、真実な方を知る理解力を与えてくださ
ったことを、私たちは知っています。そして、私たちは真
実な方の中に、すなわち御子イエス・キリストの中にい
るのです。これが真の神、また永遠の命です。**A**この手
紙が啓示していることは、今や私たちが三一の神と真
に一であり、彼は、私たちにとって真実で、実際である
ということです。**3:24** そして、彼の戒めを守る者は彼の
中に住み、また彼はその人の中に住まわれます。そし
てこのことにおいて、私たちは、彼が私たちの中に住
んでおられることを、彼が私たちに与えられたその霊
によって知るのです。**B**彼は、私たちにとって実際と命
となっています。なぜなら、私たちは彼の中にいるから
です。**II. 私たちは、三一の神を経験し、享受すること
によって、彼を認識するようになります。2:27** あなたがた
の中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あな
たがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼
の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。こ
の油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油
塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでい
なさい。**A**使徒ヨハネが彼の手紙を書いた時の関心
事は、三一の神に対する経験と享受でした。**B**三一の
神は、私たちの信仰の対象であるだけではありません。
彼は私たちの中に住んでおり、私たちの命また命の
供給として、私たちに経験と享受を与えます。**4:15** だ
れでも、イエスは神の御子であると告白するなら、神
は彼の中に住んでおられ、また彼は神の中に住んで
います。**C**私たちは、主観的な神を内側で享受するこ
とを通して、三一の神を経験的に認識する必要があります。**4** あなたがたの中におられるあの方は、世にい
るあの者より大きいからです。**D**もし私たちが三一の神
を認識しようとするなら、命の路線の中に、命の成長
の過程の中にいなければなりません。私たちは命に
おいて成長すればするほど、ますます神聖な三一に
関心を持つようになります。**III. ヨハネの手紙は、三一の
神、父、子、霊を啓示しています。A**御父を認識するこ
とは、彼を源、唯一の開始者、計画を立て、創始し、開
始する方として認識することです。あらゆる事は彼を
もって創始し、あらゆる事は彼から出ています。**1**御父
は、永遠の命の源です。彼から、彼と共に、御子は永
遠の命の表現として現れました。それは、御父の選び
の民がこの命にあずかり、享受するためです。**2**「御父」
という称号は、命の分け与えを指しています。キリスト
の復活を通して、御父は彼の命を彼の子供たちに分
け与えます。**3:1** 見よ、何という愛を、御父は私たちに
与えてくださったことでしょう。それは、私たちが神の子
供たちと呼ばれるためです。そして事実そのとおりです。

このゆえに、世の人は私たちを知りません。それは、世
の人が彼を知らなかったからです。**B**1ヨハネ1:1-2に
おいて、「命の言」と「命」の両方とも、御子キリストの神
聖なパースンを示しています。御子は、永遠において
御父と共におられました。肉体と成ることを通して
時間の中で現れました。**1:2** (この命が現れました。私
たちはこの永遠の命を見たので、あなたがたに証しを
し、また伝えています。この永遠の命は御父と共にい
ましたが、私たちに現れたのです)。**1**御子キリストは、
永遠の、以前から存在する方であり、命の言葉であり、
初めからおられる方です。**2**神の御子が現れたのは、
彼が悪魔のわざ、悪魔の罪深い行ないを取り消し破
壊するためです。**3**神は私たちの罪のために、御子を
なだめの供え物として遣わしました。**4**神がひとり子を
世に遣わしたのは、私たちが彼を通して命を持ち、彼
を通して生きるためです。**5**神の御子は、神が私たち
に彼の永遠の命を与える手段です。**6**御父と共にある
私たちの弁護者は、義人イエス・キリストです。私たち
が罪を犯す時、主イエスは、彼が達成したなだめに基
づき、私たちのために、とりなし嘆願することによって私
たちの事例を顧みてくださいます。**C**1ヨハネ4:6の真理
の霊は、聖霊、実際の霊です。私たちは神から出てい
ます。神を知っている者は私たちの言うことを聞か
ますが、神から出ていない者は私たちの言うことを聞か
ません。このことから、私たちは真理の霊と惑わしの霊
を知ります。**1**その霊は実際です。これが意味すること
は、その霊が、神の御子としてのキリストであるすべ
ての実際であるということです。**2**キリストが私たちに与
えてくださったその霊によって、私たちは、三一の神が私
たちの中に住んでいることを知ります。**D**1ヨハネ4:13-
14が啓示していることは、私たちが父なる神の中に住
み、そして彼が私たちの中に住んでいること、父なる神
が私たちに彼の霊を与えてくださったこと、御父が御子
を世の人の救い主として遣わしたことです。**4:13** 彼は
私たちに、彼の霊を与えてくださいました。このことから、
私たちが彼の中に住み、そして彼が私たちの中に住
んでおられることを知るのです。**1**13節の「彼の霊を」
(文字どおりには、「彼の霊から」)が暗示していること
は、神が私たちに与えてくださった神の霊は満ちあふ
れており、限りがないということです。そのような満ちあ
ふれる、限りのない霊によって私たちは、私たちと神が
一であり、私たちが互いの中に住んでいることを、十分
な確信をもって知ります。**2**私たちの神、御父は、すべ
てを含む、命を与える霊を私たちに与えてくださいま
した。この霊は、御子イエス・キリストの満ちあふれる供
給です。**3**私たちは真実な方を知っており、真実な方
の中にいます。**IV. 「神の御子が来られて、真実な方
を知る理解力を与えてくださったことを、私たちは知って**

います。そして、私たちは真実な方の中に、御子イエス・キリストの中にいるのです。これが真の神、また永遠の命です」(5:20)A「私たちは知っています」1「私たち」が示しているのは、まず、使徒たちの教えと交わりの中における使徒たちであり、次に、キリストのからだの肢体であるすべての真の信者です。2ここでの「知っています」とは、神聖な実際を経験し、享受し、所有することによって、知ることを指しています。B「神の御子が来られ」たのは、肉体と成ることを通して、また死と復活を通して、その霊としてであり、恵みと実際としての神を私たちにもたしました。それは、私たちが神聖な命を持ち、愛と光としての神にあずかるためです。C「理解力」は、私たちの思いの機能であり、実際の霊によって照らされ、力づけられて、私たちの再生された霊の中で、神聖な実際を理解することです。D「真実な方を知る」、または「真実な方を知る」1「真実な」と訳されたギリシャ語は、「本物の」、「実際の」を意味します。それは、偽りや偽造の反対です。a実は、ギリシャ語の言葉は単純に「真実」です。b私たちの三一の神だけが真実です。他のすべてのものとすべての人は偽りです。2「真実な方」(主観的である)という用語は、神が私たちにとって主観的になることを指しています。3この節で、客観的である神が、私たちの生活と経験において真実な方となります。a真実な方は神聖な実際です。私たちが真実な方を知り、神聖な実際を知るのは、この実際を経験し、享受し、所有することによってです。b神の御子は、私たちに理解力を与えてくださいました。それは、私たちが真の神、神聖な実際を経験し、享受し、所有することができるためです。cこの節が示しているのは、神が私たちの経験において、私たちの実際となったということです。dかつては私たちに対して客観的であった神は、私たちの主観的な実際になりました。E「私たちは真実な方の中に...いるのです」1私たちは真実の中に、御子イエス・キリストの中にいます。2私たちは神を知っているだけではありません—私たちは神の中にいます。a私たちは彼を認識しているだけでなく、彼との有機的結合の中にあります。b私たちは、有機的に彼と一です。3私たちは、もはや真実の外にはいませんし、御子イエス・キリストの外にもいません。4ヨハネは、私たちが真実な方の中にいると言う時、極めて重要なことを指摘しています。私たちは、真実な方を知っているだけでなく、神聖な実際として彼を経験し、享受し、所有するだけでなく、この実際の中にいます。私たちは、真実な方の中にいます。F「私たちは...御子イエス・キリストの中にいるのです」1真の神の中にいるとは、御子イエス・キリストの中にいることです。2神の御子としてのイエス・キリストは、神の具体化ですから、彼の中にいるとは、真の神の中にいることで

す。これが示しているのは、神の御子イエス・キリストが真の神であるということです。3真実な方の中にいることが御子イエス・キリストの中にいることであるということ、イエス・キリストの中にいることによって、私たちが真実な方の中にいると言うことは、結果として同じであり、その意味は事実上同じです。a真実な方の中にいることは、御子イエス・キリストの中にいることと等しいです(なぜなら、真実な方とイエス・キリストは、相互内在の方法で一であるからです)。b私たちが真実な方の中にいることは、御子イエス・キリストの中にいることによります。C「これが真の神、また永遠の命です」1私たちは、「これが」という言葉に注意する必要があります。2ヨハネは、「これが」を使って、真の神と永遠の命の両方を示しています。これによって私たちは、真の神と永遠の命が一であることを見ます。3教理的には、真実な方と御子イエス・キリストは二者と考えられますが、私たちが経験的に真実な方の中に、またイエス・キリストの中にいる時、この二者は一です。4このゆえにヨハネは、「これが」を使い、真実な方と御子イエス・キリストの両方を示しています。5私たちが真の神の中に、またイエス・キリストの中にいることを経験する時、彼らは一です。6私たちは、1ヨハネ5:20における「これが」が何を指しているのかについての明確なビジョンを必要とします。1「これが」という言葉が示しているのは、私たちが神の中にいることを通して、私たちが経験できるようになった神です。2私たちが真実な方、また御子イエス・キリストの中にいる時、彼らは私たちにとって一となります。ですから、ヨハネは「これが」真の神であり、「これが」永遠の命であると言っています。3「これが」は、神とイエス・キリストを指しており、この方の中に私たちはいます。4「これが」は、私たちが神とイエス・キリストの中にいるという状態を含んでいます。このゆえに、真の神と永遠の命は、私たちが真実な方と御子イエス・キリストの中にいることを含んでいます。5今や、私たちの経験において、この真実な方は真の神となり、イエス・キリストは永遠の命となっています。6「これが」は、私たちが真の神と永遠の命の中にいるという事実を含んでいます。7私たちは、自分たちが真の神の中に、また永遠の命の中にいることを知っています。なぜなら、私たちは真実な方の中に、また御子イエス・キリストの中にいるからです。8私たちが真実な方とイエス・キリストの中にいる時、「これが」(私たちが彼らの中にいるという事実を含んでいる)、真の神です。9真の神は、永遠の命として、私たちの経験となります。5:12御子を持つ者は命を持っています。1これが1ヨハネの基本的な要因です。21ヨハネには、永遠の命としての三一の神に対する享受があります。3私たちが真の神の中にいる時、彼は私たちにとって永遠の命となります。